

カレニアミキモトイ情報 R6-1号 第16報

赤潮注意報 (伊万里湾)

伊万里湾 第16報

令和6年9月3日
佐賀県玄海水産振興センター

カレニア ミキモトイが確認されています。

9月3日の伊万里湾での調査の結果、有害種であるカレニア ミキモトイが確認され、最高細胞密度は **波多津 (5m)** の **30細胞数/mL**で、**巻貝**に対して**注意報レベル**です。

カレニア ミキモトイは、魚介類に被害を与えます。今後の天候・海況によっては、さらに増殖する可能性もあります。養殖業者等におかれましては、海水の着色や養殖魚介類の状況に注意し、以下の対策を検討してください。

<input type="checkbox"/> 貝類 養殖・蓄養	巻貝 (アワビ,サザエ等)	注意	・移動の準備と実行 ・早期出荷
着色域は風や潮流により移動します。 養殖魚介類の状況には十分ご注意ください。			

【留意点】

- ・カレニア ミキモトイは魚介類のへい死を引き起こす非常に有害なプランクトンです。
- ・カレニア ミキモトイは海面が着色していなくても、中底層に赤潮を形成していることがあります。特に、アワビ、サザエ等では、海面が着色する前にへい死する可能性があります。

次回調査は9月9日 (月) に予定しています。

(但し、海況によっては臨時調査を行う予定です。)

【カレニア ミキモトイ(Karenia mikimotoi)の特徴】

- ・赤潮時期：5月～9月 (まれに冬季に発生)
- ・出現水温・塩分：9～31℃、16～36‰
- ・被害密度：約1,000 細胞数/mL以上
※特にアワビ、サザエは数10 細胞数/mL以上
- ・被害対象 魚類：マダイ、トラフグ、ハマチなど
貝類：アワビ、サザエ、アコヤガイなど



カレニア ミキモトイ

■ 次のページに、調査地点ごとの細胞密度を示しています。

カレニアミキモトイ情報 R6-1号 第16報

赤潮注意報

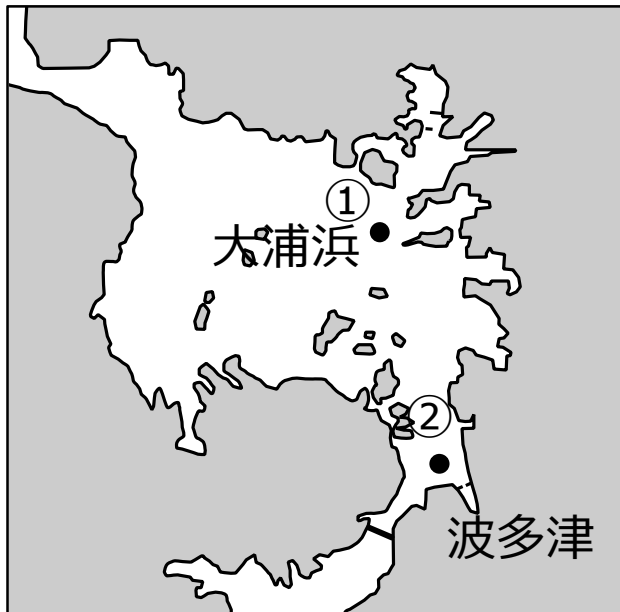
(伊万里湾)

調査年月日：令和6年9月3日

採水時間：11時20分～11時30分

地点名	採水層 (m)	カレニア ミキモトイ (細胞/mL)	珪藻類 (細胞/mL)
① 大浦浜 (水深11.7m)	0	2	2,165
	5	2	185
	B-1	2	28
② 波多津 (水深7.5m)	0	0	1,608
	5	30	1,190
	B-1	14	930

調査地点図



(カレニアミキモトイの注意・警戒密度の目安)

【対象：巻貝】

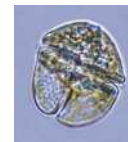
注意基準：10 細胞数/mL

警戒基準：50 細胞数/mL

【対象：魚類・二枚貝】

注意基準：100 細胞数/mL

警戒基準：1,000 細胞数/mL



カレニア ミキモトイ